

◆ 今週のコメント

- ・ **アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)**の報告が1例(40歳代女性)あり、症状は下痢、粘血便です。推定感染地域は国内で、推定感染経路は不明です。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が4例(50歳代女性, 60歳代, 80歳代及び90歳代男性)(第7週追加分3例含む)あり、本年の累積報告数は16例となっています。

京都市では、肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について(保健医療課ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

○京都市が実施する定期的予防接種について(子どもの予防接種)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>

- ・ **梅毒**の報告が1例(50歳代男性)(第7週追加分)あり、本市の累積報告数は6例となりました。近年、報告数が増加傾向にあります。重症化及び感染拡大を防ぐためには、早期発見、早期治療が非常に重要です。京都市では、平日に市内各保健センターにおいて梅毒を含むHIV・性感染症検査を行っています。詳細については以下のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「平日HIV検査・性感染症検査(予約不要)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000028204.html>

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

- ・ 京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 9例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 6例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 57例(肺結核 31例, その他結核 5例, 潜在性結核感染者 21例)うち喀痰塗抹陽性 14例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 4例(第7週追加分を含む)【1月以降の累積報告数 16例】
- ・ 五類: 梅毒(早期顕症) 1例(第7週追加分)【1月以降の累積報告数 6例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	13. 19	910
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4. 26	179
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 26	53
	③ 突発性発しん	0. 36	15
	④ 咽頭結膜熱	0. 31	13
	⑤ 手足口病	0. 26	11
眼科	流行性角結膜炎	0. 50	5

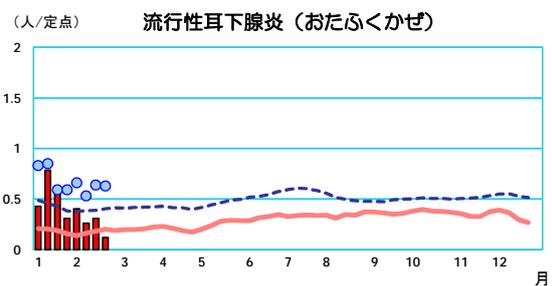
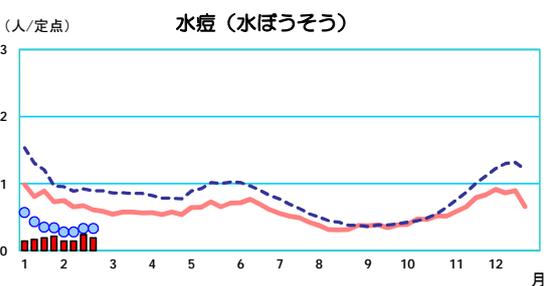
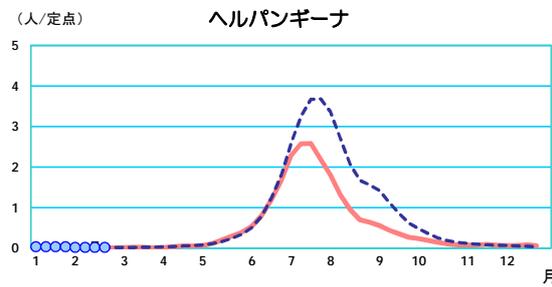
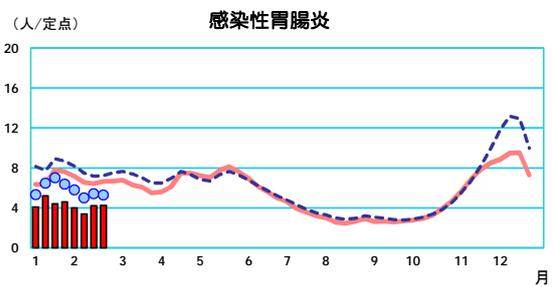
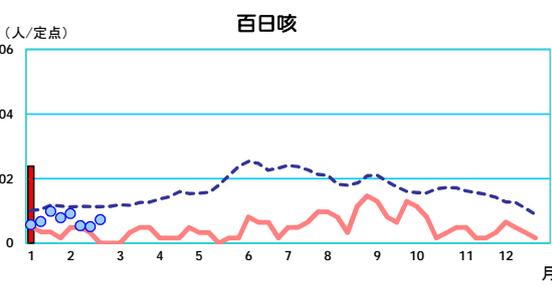
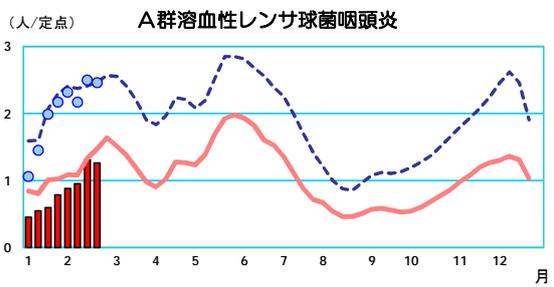
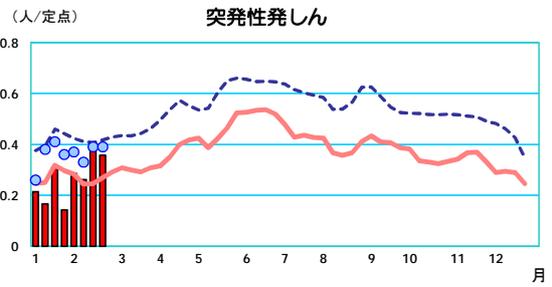
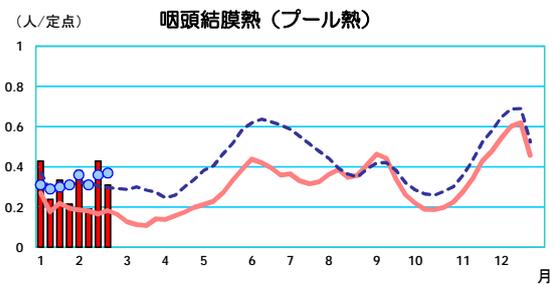
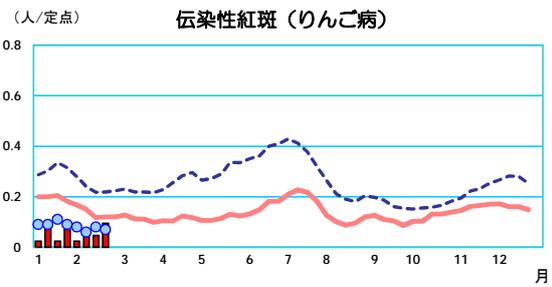
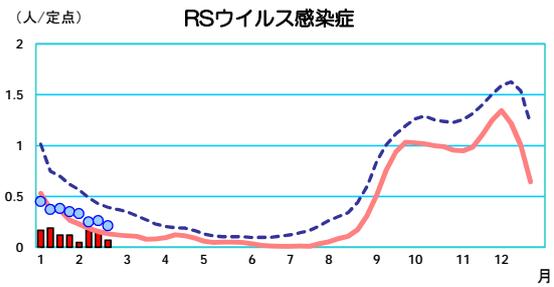
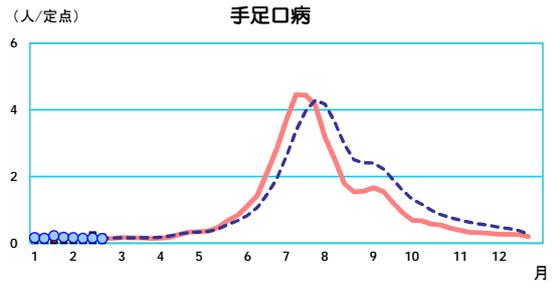
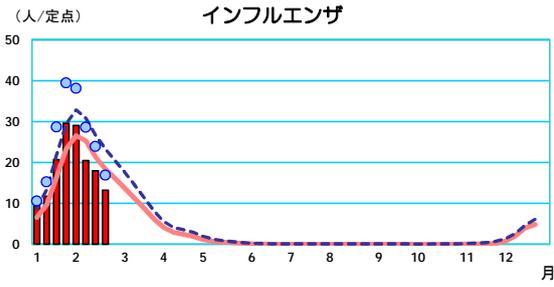
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成29年3月1日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第8週(2月20日～2月26日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。本市では、平成28年10月から12月までの間、AIDS患者* 1例、HIV感染者** 2例の計3例の報告がありました。(平成29年2月23日公表 下記URL参照)

昭和62年以降の累積報告数は302例(AIDS患者 98例(32.5%), HIV感染者204例(67.5%))となっています(表1)。推定感染経路では、性行為感染が244例で、全体の80.8%を占めています(図1)。特に、同性間の性行為感染が133例と最も多く、全体の44.0%を占めています。診断時の年齢階級別では、20歳代～30歳代の若年層が約6割を占めています(図2)。

HIVに感染すると、感染初期にウイルス量が急激に増加した後、一旦減り、無症状期(数年～10年程度)を経て、AIDS発症期に至ります。HIVウイルス量の増加に伴い、免疫細胞の数が減り、最終的に免疫不全状態となります。

HIV感染症は、適切な治療によりAIDSの発症を抑えることができることから、AIDSを発症する前にHIV感染を早期発見することが重要となります。また、早期発見により感染の拡大防止に結びつくことから、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用してください。

* AIDS患者 :AIDSと診断されて発生が届けられたもの(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

**HIV感染者 :HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの、または何らかの症状はあるがAIDSの診断基準を満たさないもの

【京都市のエイズ・性感染症に関する情報・相談について】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/36-6-2-0-0-0-0-0-0-0.html>

【エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者について(京都市広報資料)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000136959.html>

表1 年次別報告数の推移(京都市)

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
昭和62年～平成23年	229	74	155	212	17
平成24年	9	4	5	8	1
平成25年	19	5	14	18	1
平成26年	15	4	11	12	3
平成27年	14	6	8	14	0
平成28年	16	5	11	16	0
総計	302	98	204	280	22

図1 京都市の推定感染経路別の報告割合(昭和62年～平成28年)

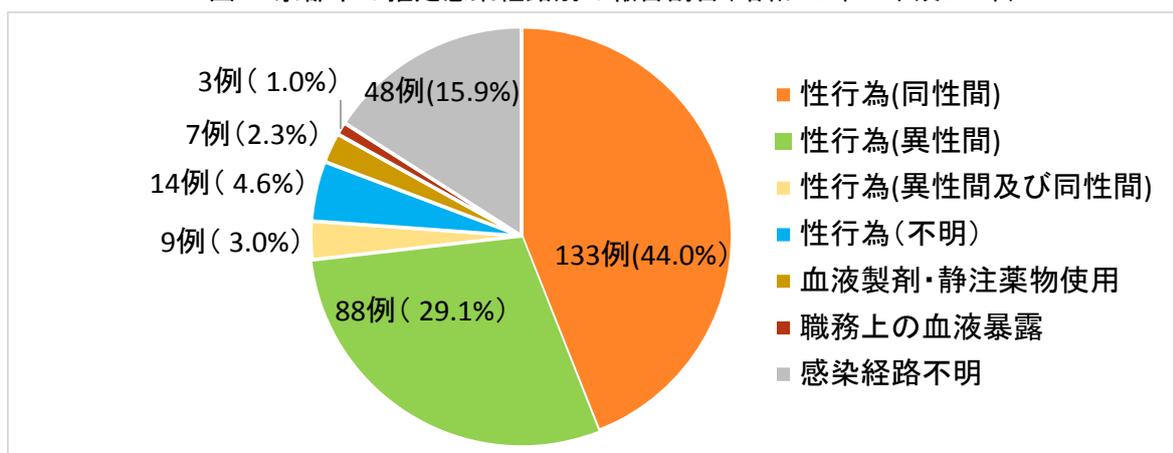
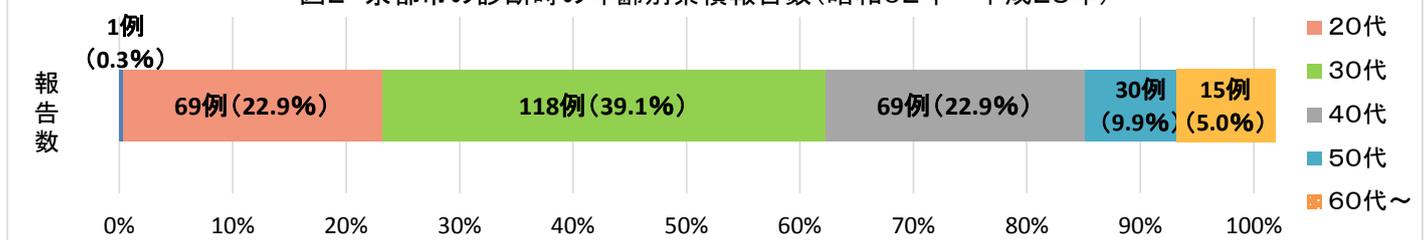


図2 京都市の診断時の年齢別累積報告数(昭和62年～平成28年)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第8週

疾病,行政区別報告数

平成29年2月20日～平成29年2月26日

データ入手日:平成29年3月1日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																				
北	69	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	53	-	1	5	10	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
左京	105	-	1	4	26	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	45	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	31	-	-	1	17	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	88	1	2	8	2	2	10	-	4	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
下京	18	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	107	-	4	7	12	2	-	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	139	1	-	11	22	-	-	1	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	161	-	4	12	62	2	1	-	5	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	94	1	1	3	16	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	910	3	13	53	179	8	11	4	15	-	4	5	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																				
北	9.86	-	-	0.50	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	10.60	-	0.33	1.67	3.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
左京	15.00	-	0.25	1.00	6.50	0.25	-	-	-	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	9.00	-	-	-	2.33	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	10.33	-	-	0.50	8.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	12.57	0.25	0.50	2.00	0.50	0.50	2.50	-	1.00	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-
下京	6.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	21.40	-	1.33	2.33	4.00	0.67	-	0.67	0.67	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	17.38	0.20	-	2.20	4.40	-	-	0.20	0.60	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	14.64	-	0.57	1.71	8.86	0.29	0.14	-	0.71	-	0.14	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	11.75	0.20	0.20	0.60	3.20	-	-	0.20	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	13.19	0.07	0.31	1.26	4.26	0.19	0.26	0.10	0.36	-	0.10	0.12	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第8週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年2月20日～平成29年2月26日

データ入手日:平成29年3月1日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	910	3	8	48	44	55	47	34	45	27	31	38	143	53	59	74	60	58	33	23	27
RSウイルス感染症		3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		13	-	1	3	1	1	3	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		53	2	1	1	4	1	7	13	8	3	3	3	3	2	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		179	4	14	16	14	15	19	18	14	11	10	4	15	5	20	-	-	-	-	-	-
水痘		8	-	-	-	1	2	-	-	-	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	11	-	-	9	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		4	-	-	1	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	1	3	10	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		4	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		5	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	13.19	0.04	0.12	0.70	0.64	0.80	0.68	0.49	0.65	0.39	0.45	0.55	2.07	0.77	0.86	1.07	0.87	0.84	0.48	0.33	0.39
RSウイルス感染症		0.07	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.31	-	0.02	0.07	0.02	0.02	0.07	0.02	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.26	0.05	0.02	0.02	0.10	0.02	0.17	0.31	0.19	0.07	0.07	0.07	0.07	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.26	0.10	0.33	0.38	0.33	0.36	0.45	0.43	0.33	0.26	0.24	0.10	0.36	0.12	0.48	-	-	-	-	-	-
水痘		0.19	-	-	-	0.02	0.05	-	-	-	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.26	-	-	0.21	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.10	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.36	0.02	0.07	0.24	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.10	-	0.02	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.12	-	-	0.02	-	-	-	-	0.05	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第8週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年3月1日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	1,427	2,042	2,004	1,413	1,239	910
RSウイルス感染症	5	5	2	7	6	3
咽頭結膜熱	14	9	16	8	18	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	33	37	40	55	53
感染性胃腸炎	185	193	168	143	177	179
水痘	8	9	6	6	10	8
手足口病	11	10	5	3	14	11
伝染性紅斑	1	3	1	3	2	4
突発性発しん	13	6	12	11	17	15
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	1	1	3	6	4
流行性耳下腺炎	26	13	17	11	13	5
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	6	5	7	5	5
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	1,720	2,330	2,275	1,655	1,562	1,210

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	20.68	29.59	29.04	20.48	17.96	13.19
RSウイルス感染症	0.12	0.12	0.05	0.17	0.14	0.07
咽頭結膜熱	0.33	0.21	0.38	0.19	0.43	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	0.79	0.88	0.95	1.31	1.26
感染性胃腸炎	4.40	4.60	4.00	3.40	4.21	4.26
水痘	0.19	0.21	0.14	0.14	0.24	0.19
手足口病	0.26	0.24	0.12	0.07	0.33	0.26
伝染性紅斑	0.02	0.07	0.02	0.07	0.05	0.10
突発性発しん	0.31	0.14	0.29	0.26	0.40	0.36
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.05	0.02	0.02	0.07	0.14	0.10
流行性耳下腺炎	0.62	0.31	0.40	0.26	0.31	0.12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.60	0.50	0.70	0.50	0.50
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1.00	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	27.89	36.91	36.85	26.77	26.03	20.71

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。